

科目名	関係法規・制度	単位数	1単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	2年生	開設期	2年全期			
受講条件	必須課目	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	美容師の業務に関する衛生法規、制度及び消費者保護法規、制度について正しい知識を習得する必要性を理解させる。公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について自覚をうながす。美容業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度美容学科昼間課程在籍							
事前学習について （テキスト・参考書等）	日本理容美容教育センター発行テキスト「関係法規・制度」・「関係法令集」							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	法制度、衛生行政の概要、理美容師法、罰則について説明できる。							
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点	美容業に関する法に纏わる身近な問題意識を高めることができる。							
☒ 態度の観点	80％以上の出席率により、単位認定の試験を受けることができる。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
日本の法律概要を理解することができ、法の中で守られている「理容師法・美容師法」により、美容師免許制度として独占業務が成立している業界に就職するにあたり、お客様や従業員の安全して業務を通してサービス提供ができることを意識することが出来る。また、美容師法は美容師国家試験を受けるため、すべての美容師法に対し、80％の実用的な「衛生管理」の義務や怠った時の罰則、罰金等、常に意識するとともに、「国家試験必須課目」であることにより、過去問題等通じて、国家試験100％合格を狙うことを最大限の目標とする。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
	第1章 法制度の概要							
1, 2	第1節 社会生活における法の役割		テキスト読み込み・予習		養成施設日誌			
3, 4	第2節 法の形式		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
5, 6	第3節 衛生法規の概要		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
7, 8	第4節 理容師法・美容師法と付属法令		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
	第2章 衛生行政の概要							
9, 10	第1節 衛生行政の意義と歴史		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
11, 12	第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
13, 14	第3節 衛生行政を担う行政機関		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
	第3章 理容師法・美容師法							
15, 16	第1節 目的		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
17, 18	第2節 用語の定義		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
19, 20	第3節 人（理容師・美容師）に関する規定		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
21, 22	第4節 施設（理容所・美容所）に関する規定		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
23, 24	第5節 立入検査と環境衛生監視員		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
25, 26	第6節 違反者等に対する行政処分		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
27, 28	第7節 罰則		テキスト読み込み・予習、復習		養成施設日誌			
29, 30	第4章 関連法規		テキスト読み込み・予習		養成施設日誌			
成績評価方法								
1 期末試験（1回） 2 授業態度80％以上の出席率で単位認定試験を受けることができる。 3 各課題のレポート提出 4【出席】 必須科目講義は、80％以上の出席率であること。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100%	秀（4）：90点以上
小テスト							なし	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良（2）：70点以上
授業態度							なし	可（1）：60点以上
発表・作品							なし	不可（0）：59点未満
演習							なし	未修得 （ ）内はGP点数
出席							欠格条件（4）	
担当教員	原田 純一郎 ・ 藤井 勝			実務経験紹介				

科目名	衛生管理	単位数	3単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	1， 2年生	開設期	1年前期			
受講条件	必須課目	開設時期		教員実務経験対象				
授 業 概 要 （目的、目標とする資格・検定等）	公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を負わなければならない理由は何かを十分に理解させる。環境衛生と意義、目的について美容師の業務と関連付けし、具体的に理解する。美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の維持との具体的な関連付けを重視して美容における衛生措置の重要性について理解する。美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるのでその意義と原理について十分に理解する。また、適正な実施方法を身につけさせる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度 美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容試験教育センター発刊（2026年4月） ワークブック 消毒器具							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 【公衆衛生・環境衛生】 期末試験1回 2年次過去問正解率80％以上 2年次過去問正解率80％に達成することができる。								
☒ 思考・判断の観点 【公衆衛生・環境衛生】 期末試験1回 2年次過去問正解率80％以上 2年次過去問正解率80％に達成することができる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 出席率80％以上、提出物を重視する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
公衆衛生とは何かを理解する。公衆衛生の歴史を学び、公衆衛生の発展及び美容業と関連する消毒法の歴史を学ぶ。保健所の機能と事業について学び、保健所と美容業の関わりを把握する。 世代・精神の観点から保健の基礎知識を学習する。 環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を学び、環境衛生の基礎知識を身に着ける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
	第1編 公衆衛生							
1～2	第1章 公衆衛生の概要							
	1節 公衆衛生の意義と課題		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
3～6	2節 公衆衛生発展の歴史		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 欧米の公衆衛生の歩み		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 我が国の公衆衛生の歩み		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	3 消毒法の歴史		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
7～10	3節 理容師・美容師と公衆衛生		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 公衆衛生と理容師・美容師		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	4節 保健所と理容業・美容業		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
11～14	第2章 保健							
	1節 保健		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 母子保健		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 成人・高齢者保健		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	3 精神保健		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	第2編 環境衛生							
	第1章 環境衛生							
15～16	1節 環境衛生の概要		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 環境衛生の内容		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 環境衛生の目的と意義		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	3 環境衛生活動		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
17～18	2節 空気環境		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 空気と健康		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 温熱環境と健康		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
19～20	3節 衣服・住居の衛生		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 衣服の衛生		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 住居の衛生		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
21～22	4節 上・下水道と廃棄物		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 上水道		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 下水道		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	3 廃棄物		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
23～24	5節 衛生害虫とネズミ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 衛生害虫		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	2 ネズミ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
24～26	6節 環境保全		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	1 水質汚濁		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
27～30	期末試験				養成施設日誌			
成績評価方法								
1【定期試験】 年1回（前期）の期末試験を行う。								
2【小テスト】 単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）								
3【授業態度】 授業の取り組む姿勢（ノートの提出）								
4【出席】 必須科目講義は、80％以上の出席率であること。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					90%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度				○			10%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価無し	
出席							欠格条件（4）	（ ）内はG P点数
担当教員		薦濱友子		実務経験紹介				

科目名	衛生管理	単位数	3単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	1, 2年生	開設期	1年後期			
受講条件	必須課目	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を負わなければならない理由は何かを十分に理解させる。環境衛生と意義、目的について美容師の業務と関連付けし、具体的に理解する。美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の維持との具体的な関連付けを重視して美容における衛生措置の重要性について理解する。美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるのでその意義と原理について十分に理解する。また、適正な実施方法を身につけさせる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度 美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容試験教育センター発刊（2026年4月） ワークブック 消毒器具							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	【感染症】 期末試験1回 2年次過去問正解率80%以上							
☒ 思考・判断の観点	【感染症】 期末試験1回 2年次過去問正解率80%以上							
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点	出席率80%以上、提出物を重視する。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
感染症の分類の仕方を学び、その種類を理解する。 感染症の原因となる病原微生物について学習し、細菌の増殖方法、環境による影響などを理解する。 感染症予防のための必要な基礎知識を学習する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
31	感染症概要		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
32, 33	感染症発見の歴史 感染症と法律		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
34, 35	感染症の分類		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
36, 37	病原微生物の種類 構造		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
38, 39	微生物の増殖と環境の影響		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
40, 41	微生物の病原性と人体の感受性		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
42, 43	汚染、感染及び発病		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
44, 45	常在細菌叢		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
46, 47	免疫と予防接種 定期の予防接種		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
48, 49	感染症発生の要因 感染源 感染経路 感受性		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
50, 51	感染症予防の3原則 理容美容と感染症		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
52, 53	空気感染 結核 ジフテリア SARS MERS COVIT-19		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
54, 55	鳥インフルエンザ インフルエンザ 新型インフルエンザ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
56, 57	麻しん 百日せき 風しん 経口感染		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
58, 59	血液、体液による感染		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
60	予防対策・期末試験		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
成績評価方法								
1【定期試験】	年1回（前期）の期末試験を行う。							
2【小テスト】	単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）							
3【授業態度】	授業の取り組む姿勢（ノートの提出）							
4【出席】	必須科目講義は、80%以上の出席率であること。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					90%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度				○			10%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価無し	
出席							欠格条件（4）	（ ）内はGP点数
担当教員	薦濱友子			実務経験紹介				

科目名	衛生管理	単位数	3単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	1, 2年生	開設期	2年全期			
受講条件	必須課目	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	公衆衛生の意義と本質を明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を負わなければならない理由は何かを十分に理解させる。環境衛生と意義、目的について美容師の業務と関連付けし、具体的に理解する。美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の維持との具体的な関連付けを重視して美容における衛生措置の重要性について理解する。美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるのでその意義と原理について十分に理解する。また、適正な実施方法を身につけさせる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度 美容学科昼間課程在籍							
事前学習について （テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容試験教育センター発刊（2026年4月） ワークブック 消毒器具							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 【消毒法】 期末試験1回 2年次過去問正解率80％に達成することができる。								
☒ 思考・判断の観点 【消毒法】 期末試験1回 2年次過去問正解率80％に達成することができる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 出席率80％以上、提出物を重視する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
消毒の意義と目的を理解する。消毒方法の種類、原理、特徴を理解する。対象物に応じた適切な消毒方法の選択適正な実施方法を学ぶ。消毒方法について、正しい操作方法及び注意事項を身に着ける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
	第4編 衛生管理技術							
61, 62	病原微生物と非病原微生物 消毒の原理		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
63, 64	消毒の意義		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
65, 66	理容、美容の業務と消毒との関係		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
67, 68	消毒法と適用上の注意		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
69, 70	理学的消毒法		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
71, 72	化学的消毒法		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
73, 74	優れた消毒法とその実施上の注意		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
75, 76	各種消毒法		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
77, 78	希釈液の濃度Ⅰ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
79, 80	希釈液の濃度Ⅱ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
81, 82	理容所・美容所の消毒の実際		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
83, 84	理容所・美容所の清潔法の実際		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
85, 86	衛生管理の実践例Ⅰ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
87, 88	衛生管理の実践例Ⅱ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
89, 90	自主的管理体制		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
成績評価方法								
1【定期試験】 年1回（前期）の期末試験を行う。								
2【小テスト】 単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）								
3【授業態度】 授業の取り組む姿勢（ノートの提出）								
4【出席】 必須科目講義は、80％以上の出席率であること。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					90%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度				○			10%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価無し	
出席							欠格条件（4）	（ ）内はG P点数
担当教員		薦濱友子		実務経験紹介				

科目名	保健Ⅰ	単位数	2単位	科目コード	BM
授業形態	講義	対象学生	1年	開設期	1年前後期
受講条件	必須課目	開設時期	4月	教員実務経験対象	必須
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	美容の基礎となる人体について、特に皮膚、及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、統計的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が必要不可欠であることを理解させる。				
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する				
受講条件	2026(R8)年度　美容学科昼間課程在籍				
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容教育センター「保健」2026.4.1発行テキスト　　ワークブック2026　「第53回国試対策」テキスト　人体模型　など				
授業の到達目標					
☑ 知識・理解の観点　人体の各部名称並びに顔部、頭部、頸部の特徴、美容施術の際に使う骨格、筋の種類、機能を説明できる。神経系は仕組みについて説明できる。皮膚、皮膚付属器官の名称並びに機能、構造を説明できる。					
☑ 思考・判断の観点　保健を通して自信の保健維持と対人の健康観察の目安として考え、判断する力が身につく。					
☑ 関心・意欲の観点　美容業務における人体や皮膚、皮膚付属器官の仕組みや生理機能、役割、保健衛生について学んだ知識が衛生管理、技術理論、美容実習と関連することを考えることができる。					
☑ 態度の観点　美容師養成施設規則に準じ、１００％～８０％以上の出席率に限り単位認定試験を受けることができる。					
☑表現の観点　実際の解説により、更に実際と照らし合わせることでより正確で、安心な学習がおこなえるようになる。					
授業計画（全体）					
美容の基礎となる人体について、特に皮膚、及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、統計的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が必要不可欠であることを理解させる。1年次は1，2章完結で50%の知識を習得。2年次に1，2章復習と過去問題の解答解説を通して、国家試験に対応できる知識習得を計り、衛生管理、理論、香粧品等関連する項目の理解とイメージ協調することで記憶に残るようになる。国家試験必須課目合格レベルに到達することができる。					
授業計画（授業単位）					
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録
	第1編　人体の構造及び機能				
1～4	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
5～8	第2章　骨格器系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
9～12	第3章　筋系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
13～16	第4章　神経系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
17～20	第5章　感覚器系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
21～24	第6章　血液と免疫系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
25～28	第7章　循環器系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
29～32	第8章　呼吸器系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
33～34	第9章　消化器系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
35	第1編　人体の構造及び機能　期末試験				養成施設日誌
	第2章　皮膚科学				
36～40	第1章　皮膚の構造		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
41～44	第2章　皮膚付属器官の構造		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
45～46	第3章　皮膚の循環系と神経系		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
47～50	第4章　皮膚と付属器官の生理機能		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
51～54	第5章　皮膚と付属器官の保健		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
55～59	第6章　皮膚と付属器官の疾患		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌
60	第2編　皮膚科学　まとめ　期末試験		解答・解説		養成施設日誌
					</

科目名	保健Ⅱ	単位数	1単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	2年	開設期	2年全期			
受講条件	必須課目	開設時期	4月	教員実務経験対象	必須			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	美容の基礎となる人体について、特に皮膚、及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、統計的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が必要不可欠であることを理解させる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容教育センター「保健」2026.4.1年発行テキスト　ワークブック　「第53回国試対策」テキスト　など							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点　人体の各部名称並びに顔部、頭部、頸部の特徴、美容施術の際に使う骨格、筋の種類、機能を説明できる。神経系は仕組みについて説明できる。皮膚、皮膚付属器官の名称並びに機能、構造を説明できる。								
☑ 思考・判断の観点　保健を通して自信の保健維持と対人の健康観察の目安として考え、判断する力が身につく。								
☑ 関心・意欲の観点　美容業務における人体や皮膚、皮膚付属器官の仕組みや生理機能、役割、保健衛生について学んだ知識が衛生管理、技術理論、美容実習と関連することを考えることができる。								
☑ 態度の観点　美容師養成施設規則に準じ、１００％～８０％以上の出席率に限り単位認定試験を受けることができる。								
☑表現の観点　実際の解説により、更に実際と照らし合わせることでより正確で、安心な学習がおこなえるようになる。								
授業計画（全体）								
美容の基礎となる人体について、特に皮膚、及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、統計的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が必要不可欠であることを理解させる。1年次は1，2章完結で50%の知識を習得。2年次に1，2章復習と過去問題の解答解説を通して、国家試験に対応できる知識習得を計り、衛生管理、理論、香粧品等関連する項目の理解とイメージ協調することで記憶に残るようになる。国家試験必須課目合格レベルに到達することができる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
61, 62	第1編　人体の構造及び機能　まとめ1		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
63, 64	第1編　人体の構造及び機能　まとめ2		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
65, 66	第1編　人体の構造及び機能　まとめ3		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
67, 68	第1編　人体の構造及び機能　まとめ4		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
69, 70	第1編　人体の構造及び機能　まとめ5		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
	第1編　人体の構造及び機能　総合		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
71, 72	第2編　皮膚科学　まとめ1		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
73, 74	第2編　皮膚科学　まとめ2		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
75, 76	第2編　皮膚科学　まとめ3		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
77, 78	第2編　皮膚科学　まとめ4		復習（テキストまとめ・ワークブック）		養成施設日誌			
79, 80	第2編　皮膚科学　総合		ワークブック		養成施設日誌			
81, 82, 83	国家試験対策　保健総合1		過去問題・ワークブック・国試対策テキスト		養成施設日誌			
84, 85, 86,	国家試験対策　保健総合2		過去問題・ワークブック・国試対策テキスト		養成施設日誌			
87, 88, 89, 90	国家試験対策　保健総合3，4		過去問題・ワークブック・国試対策テキスト		養成施設日誌			
成績評価方法								
1【定期試験】　年1回（前期）の期末試験を行う。								
2【小テスト】　単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）								
3【授業態度】　授業の取り組む姿勢（ノート・プリントの記入、音読、質問に対する回答）								
4【出席】　必須科目講義は、８０％以上の出席率であること。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀（４）：９０点以上 優（３）：８０点以上 良（２）：７０点以上 可（１）：６０点以上 不可（０）：５９点未満　未修得 （　）内はG P点数
小テスト							なし	
宿題レポート提出物							なし	
授業態度							なし	
発表・作品							なし	
演習							なし	
出席							欠格条件（４）	
担当教員	千村　希人・大宮　友美子			実務経験紹介	○			

科目名	香粧品化学		単位数	2単位	科目コード	BM		
授業形態	講義		対象学生	美容1，2年	開設期	1年全期、2年全期		
受講条件	必須課目		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	香粧品は、美容技術を行う上で、欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすものであることから、その化学的な性質を理解させるとともにこれを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身につけることが重要であることを理解させる。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026年度 美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容教育センター発行「香粧品化学」（2026年4月）ワークブック（2024年4月）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 香粧品の基礎知識、使用方法、注意などの理解度を評価する（目標80％理解）								
☒ 思考・判断の観点 日常の身近な香粧品に関心を持ち、どのような使用法が効果的か、など理解できるようになる								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 積極的に授業参加している（ノートをとる、質問する）点を評価する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
香粧品の原料、配合成分など性状、使用目的、どのような薬品が香粧品に属するか、その定義、社会的意義や特性、法的根拠、製品の安全性などの概要を学び、対ヒトに使用することでどのような良い効果が得られ、また安心を与える美容師として最低限の基礎知識を理解することが目標とする。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～5	第1編 香粧品総論 第1章 香粧品概論							
	1節 香粧品とは			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 香粧品と造形			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	3節 香粧品の効果と使用プロセス			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
6～10	第2章 香粧品を使用する際に気をつけるべきこと							
	1節 香粧品の使用による症状			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 香粧品の定義と法規制			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	3節 香粧品の安全性と安定性			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
11～30	第3章 香粧品の成り立ち							
	1節 香粧品の成り立ち			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 水と親水性溶媒			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	前期試験			前期試験		養成施設日誌		
	3節 油性原料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	4節 界面活性剤			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	5節 高分子化合物			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	6節 色材			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	7節 香料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	8節 製品を安定させる配合原料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	9節 その他の機能性配合原料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	10節 雑貨原料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	期末試験（後期）			期末試験（後期）		養成施設日誌		
31～49	第2編 香粧品各論 第1章 スキンケア製品							
	1節 香粧品の効果と使用プロセス			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 クレンジング用香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	3節 コンディショニング用香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	4節 トリートメント用香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
50～55	2章 メイクアップ製品							
	1節 メイクアップ製品の種類と剤形			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 ベースメイクアップ香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	3節 ポイントメイクアップ香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	4節 アイメイクアップ製品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	5節 まつ毛ケア製品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	6節 ネイルメイクアップ製品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	前期試験			前期試験		養成施設日誌		
56～60	第3章 ハアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルブケア製品							
	1節 ハアクレンジング用香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	2節 ハアコンディショニング用香粧品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	3節 ハアスタイリング料			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	4節 パーマ剤			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	5節 ハアカラー製品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	6節 スキャルブケア製品			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	期末試験（後期）			期末試験（後期）		養成施設日誌		
成績評価方法								
1【定期試験】	年2回（前期、後期）の期末試験を行う。							
2【小テスト】	単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）							
3【授業態度】	授業の取り組む姿勢（ノート・プリントの記入、音読、質問に対する回答）							
4【出席】	必須科目講義は、80％以上の出席率であること。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度				○			10%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価無し	
出席							欠格条件（4）	（ ）内はG P点数
担当教員		大宮友美子		実務経験紹介				

科目名	文化論		単位数	2単位	科目コード	BM		
授業形態	講義		対象学生	1， 2年	開設期	1年全期～2年全期		
受講条件	必須課目		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力を養うこと。美容の業務を全うするためには確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させる。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度 美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容試験教育センター「文化論」（2026年4月）ワークブック（2026年4月）							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 日本と西洋、それぞれの歴史の中に見る理容・美容は、各時代の人々がどのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたかを知り、理解し説明できる。								
☑ 思考・判断の観点 美容文化を学び、過去のヘアスタイル、服装、メイクから、時代による変化を習得することにより、現代のトレンドを判断する力が身につく。								
☑ 関心・意欲の観点 グループワークでのディスカッションや、自分なりの年表の作成により美容文化の歴史を表現することが出来る。								
☑ 態度の観点 60時間のうち、80％以上の出席と、レポート提出（年表のまとめ）の期限や内容により評価する。								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
美容文化論は、人の歴史の最古から、理容、美容が関わってきたことを学ぶと共に、日本と西洋、それぞれの歴史の中にみる理容・美容は、各時代の人々が、どのような時代の背景の中で、どのような美しさを求めたかを知ることができる。お客様とのコンセンサスを得るためのヒントや、創造の幅を広げるエッセンスを身につけ、基本を知ること幅を広げる学習をする。								
授業計画（授業単位）								
	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第1章 総論		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌			
3～6	第2章 日本の理容・美容業の歴史「理容業・美容業の発生」		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌			
	江戸時代・近代・現代の理容業・美容業		予習・復習（テキスト読み込み）		養成施設日誌			
7～12	第4章 ファッション文化史（西洋編）古代エジプト		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	古代ギリシャ・ローマ		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	古代ゲルマン・中世ヨーロッパ・近世Ⅰ（16世紀）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
13～18	近世Ⅱ（17世紀）・近世Ⅲ（18世紀）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	近代Ⅱ（19世紀）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
19～24	現代Ⅰ（1910年代～1920年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
25～32	現代Ⅳ（1960年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅴ（1970年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅵ（1980年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅶ（1990年代～2010年）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
33，34	期末試験		期末試験対策		養成施設日誌			
35～40	第3章 ファッション文化史（日本編）縄文・弥生・古墳時代		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	古代（飛鳥・奈良・平安時代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
41～46	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	近世Ⅱ（江戸時代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	近代（明治・大正・昭和20年まで）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
47～54	現代Ⅰ（1945年～1950年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅱ（1960年代～1970年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
	現代Ⅳ（2000年以降）		予習・復習（テキスト熟読・年表のまとめ）		養成施設日誌			
55，56	期末試験		期末試験対策		養成施設日誌			
57，58	総合復習 年表のまとめ		復習（まとめ）		養成施設日誌			
59，60	国家試験対策		過去問・ワークブック		養成施設日誌			
成績評価方法								
1【定期試験】	年1回（学期末）の期末試験を行う。レポート（年表のまとめ）の提出ができているか。							
2【小テスト】	単元終了後随時行う（誤解を訂正して理解度を深める）							
3【授業態度】	授業の取り組み姿勢（ノート・プリントの記入、音読、質問に対する回答）							
4【出席】	必須科目教科は80％の出席であること。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良（2）：70点以上
授業態度			○				10%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席							欠格条件（4）	（ ）内はGP点数
担当教員	大宮友美子			実務経験紹介				

科目名	美容技術理論		単位数	5単位	科目コード	BM		
授業形態	講義		対象学生	全学年	開設期	1年全期、2年全期		
受講条件	必須課目		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思想に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟あせること。あわせて、美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2025(R7)年度美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容試験教育センター発行「美容技術理論１、２」（2025年４月）　ワークブック							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点　美容実習で習得する技術の裏付けとし、美容理論の期末試験で70点以上目標とし、国家試験過去問80％以上目標とし、国家試験では10問中7問以上得点を目指す。								
☒ 思考・判断の観点　美容実習の裏付けとして理論を重ね、基礎をしっかりと理解させる。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点　出席率80％以上とし、実習時に専門用語を積極的に使用し、共通会話として正確な伝達をすることができる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思想に裏付けされた正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟あせること。あわせて、美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	序章　美容技術理論を学ぶにあたって			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
2～6	第1章　美容用具							
	美容用具、器具、名称			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
7～15	第2章　シャンプーイング							
	タオル、ターバン、事前準備			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ウェット、ワンシャンプー（サイド）　（バック）			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	シャンプー、（サイド、バック）リンス、タオルドライ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
16～25	第3章　ヘアデザイン							
	美容とデザイン			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
26～39	第4章　ヘアカッティング							
	シザーズ、レザー、美容刃物			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ベーシックなカット技法			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
40～61	第5章　パーマメントウェーピング							
	ブロッキング、ワインディング、特殊技術			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	薬剤基礎知識　特徴、種類			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
62～84	第6章　ヘアセッティング							
	オールウェーブ、ピンカール種類、技法			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ローラーカーリング、ブロードライ、アップスタイル			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
85～100	第7章　ヘアカラーリング							
	ヘアカラー概論、歴史			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	カラー剤種類、基礎知識			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	施術方法、手順			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	注意事項、パッチテスト			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
101～120	第8章　エステティック							
	エステティック概論・皮膚の生理と構造・カウンセリング			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	美容におけるマッサージ理論・フェイシャルケア技術			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	フェイシャル及びデコルテマッサージ・フェイシャルパック			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ボディケア技術・ボディマッサージ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
121～130	第9章　ネイル技術							
	ネイル技術概論・ネイル技術の種類・爪の構造と機能			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	爪のカット形状・ネイル技術と公衆衛生			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	カウンセリング・ネイルケア			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
130～138	第10章　メイクアップ							
	メイクアップ概論・パーソナルカラー			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・スキンケア			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ベースメイクアップ・アイメイクアップ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	アイブロウメイクアップ・リップメイクアップ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	ブラッシュオンメイクアップ・まつ毛エクステンション			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
139～142	第11章　日本髪							
	日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	日本髪と調和・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	日本髪の結髪技術・日本髪の手入れ・かつら			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
143～150	第12章　着付けの理論と技術							
	着付の目的・礼装・着物と季節・着物のいろいろ			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	帯・小物・着物各部の名称・着物のたたみ方・着付けの一般的要領			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	留袖着付け技術・振袖着付け技術・帯締め、帯揚げの結び方			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	男子礼装羽織、袴着付け技術・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
	婚礼着付けの際の注意事項・和装花嫁・様相花嫁			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
成績評価方法								
1期末試験80点を目標とする								
2各単元の理解度を確認するため、過去問等取り入れた小テストを行う。基準以下の者は再提出								
3授業態度は、積極性、参加態度を評価する。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀（４）：90点以上
小テスト							なし	優（３）：80点以上
宿題授業外レポート							なし	良（２）：70点以上
授業態度				○			10%	可（１）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（０）：59点未満　未修得
演習							評価無し	
出席						出席率80%以上	なし	（　）内はG P点数
担当教員		美容学科資格取得教員		実務経験紹介				

科目名	運営管理	単位数	1 単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	1, 2 学年	開設期	2年全期			
受講条件	必須課目	開設時期	4 月	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	経営管理および労務管理の基本的事項を学習することによって、美容業における運営管理手法の重要性を認識させ、美容所の運営に役立たせること。美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践するの応力を身につけさせること。							
授業の一般目標	国家試験筆記試験合格基準以上の知識を習得する							
受講条件	2026(R8)年度美容学科昼間課程在学生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	(公社) 日本理容美容試験教育センター発刊「運営管理」 (2026年4月) 「第53回国試対策」テキスト ワークブック							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 運営管理の大きな項目3点（経営者の考え方、責任、役割、雇用することの責任や働くうえで求められること。顧客満足させるサービスとは。								
☒ 思考・判断の観点 経営を継続するうえで2点（顧客満足、一貫性と継続性）について実務実習などと併せて実際に学ぶ。								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点 30時間のうち、80%以上の出席とレポート提出の期限や期末試験内容により評価する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
運営管理は、経営やマネジメントという言葉で表現されることで、より良い美容サービスにより、顧客満足を実現することで、店舗の発展や運営に取り込むための5つの項目について、1年次に30時間学ぶ。概要として経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ。人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ。顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう表現するかについて学ぶ。顧客志向、一貫性と継続性など、経営者の観点から物事を考える習慣を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
	第1編 経営者の視点							
2	第1章 経営とは・経営者とは		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
4	第2章 理容業・美容業の経営について		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
6	第3章 資金の管理		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	第2編 人という資源 従業員としての視点							
8	第1章 人という資源		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
10	第2章 健康・安全な職場環境の実現		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
12	第3章 従業員としての視点から		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	第3編 顧客ののために							
14	第1章 サービス・デザイン		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
16	第2章 マーケティング		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
18	第3章 サービスにおける人の役割		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
20	1編 総合復習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
22	2編 総合復習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
24	3編 総合復習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
26	試験対策		配布プリント・テキスト・まとめ復習		養成施設日誌			
28	試験対策		配布プリント・テキスト・まとめ復習		養成施設日誌			
30	期末試験		試験対策・解答解説		養成施設日誌			
成績評価方法								
1期末試験 2思考判断 3関心、意欲 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀（4）：90点以上 優（3）：80点以上 良（2）：70点以上 可（1）：60点以上 不可（0）：59点未満 未修得 （ ）内はG P 点数
小テスト							なし	
宿題授業外レポート							なし	
授業態度							なし	
発表・作品							なし	
演習							なし	
出席							なし	
担当教員		千村 希人		実務経験紹介		○		

科目名	美容実習	単位数	3 0 単位	科目コード	BM			
授業形態	演習	対象学生	全学年	開設期	全期			
受講条件	必須課目	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身につける。これらの基本操作を適宜組み合わせる実施方法を習得する。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒など適切な実施方法を身につける。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につける。							
授業の一般目標	国家試験実技試験合格基準以上の技術を身につける							
受講条件	2025 (R7) 年度美容学科昼間課程在学生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	（公社）日本理容美容教育センター（2025年4月）発行「美容実習 1」「美容実習 2」							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 正確な基礎技術から応用まで美容実習全般に至る 8 0 % 以上の理解を目指す。								
☑ 思考・判断の観点 美容理論と実習の裏付けを説明できるようになる。また、よりバターな判断力を養うことで、課題を仕上げるときに手順を更に効率化する工夫する力が身につく。								
□ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点 実習、演習、デモンストレーション時の積極的参加態度や時間外練習などを評価する。								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
国家試験課題の必須課目であり、男女ともすべての基礎必須技術として2年間を通して900時間以上実施。6～9章は「トータルビューティ」の傾向が強く、就職を意識する面では、詳細にわたる基礎技術習得を目指し、選択課目である「総合基礎」、「コース選択」の重要な基礎必須課目として美容技術理論と併せて技術の裏付けと反復による確かな基礎技術習得を目指す。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
	第1章 シャンプーイング							
1	クロス等事前準備と取り扱い（演習）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
2～7	ブラッシングとすすぎ（サイドシャンプー）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
8～18	シャンプー実習Ⅰ（ワンシャンプー、リンス、タオルドライ）サイド		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
20～28	シャンプー実習Ⅱ（ワンシャンプー、リンス、タオルドライ）バック		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
30	確認テスト・総評				養成施設日誌			
	第2章 ヘアカットイング							
31～40	シザーワーク・ワンレングス		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
41～47	グラデーションカット		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
48～53	レイヤーカット		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
54～60	セイムレングス・レザーカット		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
61～120	国家試験課題 第一課題カット		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第3章 パーマネントウェービング							
121～128	ブロッキング・ワインディング1本巻（上、下）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
129～138	ブロッキング・センター、フロント		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
139～142	バックサイド、サイド		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
143～186	ブロッキング・全頭巻き		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
187～200	全頭巻きⅠ まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第4章 ヘアセッティング							
201～288	オールウェーブ概論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	Cカール～リッジ～ウェーブ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	オールウェーブⅠ～ピンカール7段Ⅰ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
289～310	第5章 ヘアカラーリング		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ヘアカラー実習（リタッチ、ワンメイク、）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
311～460	国家試験課題第1課題 Ⅱ（レイヤーカット）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第一課題1		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第一課題2		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第一課題3		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	第一課題4		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
461～740	国家試験課題第2課題 Ⅱ－1（ワインディング）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	国家試験課題第2課題 Ⅱ－2（オールウェーブセッティング）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
741～770	国家試験課題1, 2課題 総まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
771～801	第6章 エステティック							
	エステティック備品類		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	フェイシャルクレンジング		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	フェイシャルマッサージ・デコルテマッサージ・仕上げ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	フェイシャルパック・マスク		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
802～844	第7章 ネイル技術							
	ネイルケア（マニキュア・ペディキュア）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ネイルアート		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	手と足のマッサージ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
845～871	第8章 メイクアップ							
	スキンケア・ベースメイクアップ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	アイメイクアップ・アイブロウメイクアップ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	リップメイクアップ・ブラッシュオンメイクアップ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
872～900	第9章 着付け技術							
	留袖着付け		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	振袖着付け		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	男子礼装羽織、袴着付け		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	女子袴着付け		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	打掛着付け		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	伝統的な花嫁化粧				養成施設日誌			
成績評価方法								
1 実技試験 理解度、完成度を 6 0 ～ 9 0 % の配分で評価する。								
2 テストは、各単元の理解度の可否で最終的に課題、自主練習等で規定の基準に達すること。								
3 態度点は積極的に取り組む姿勢、放課後の反復練習などの取り組み姿勢を評価する。								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					70%	秀（4）：9 0 点以上
小テスト	○						20%	優（3）：8 0 点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：7 0 点以上
授業態度				○			10%	可（1）：6 0 点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：5 9 点未満 未修得
演習							評価無し	
出席						8 0 % 以上出席	評価無し	（ ）内は G P 点数
担当教員	美容学科資格取得教員			実務経験紹介	サロン勤務経験者・美容師養成施設指導資格者			

科目名	選択必修課目（カットクリエイティブ演習）		単位数	4単位	科目コード	BM		
授業形態	実習 演習		対象学生	1年・2年CCコース	開設期	1年後期・2年全期		
受講条件	選択課目		開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要 （目的・目標とする資格・検定等）	サロンワークの主軸である「カット」、「カラー」、「パーマ」、「フォト技術」、「ヘッドスパ」の高等技術、理論を習得することで、美容師の主軸となるカット、カラー、カラー、ヘッドスパなど、基礎技術をベースに更に高等技術を習得することを目標とする。							
授業の一般目標	サロンワークの主軸である「カット」、「カラー」、「パーマ」、「フォト技術」、「ヘアアレンジⅡ」の高等技術、理論を習得する。							
受講条件	カットクリエイティブ演習の選択を許可された者							
事前学習について （テキスト・参考書等）	専用テキスト、プリント、各種専用教材							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 専門性の高い高度な知識、技術の習得できる。								
☑ 思考・判断の観点 基礎から応用活用するため、選択肢の中から最適な方法などを見出す								
☐ 関心・意欲の観点								
☑ 態度の観点 積極的、能動的に取り組む姿勢を評価する。								
☑ 技能・表現の観点 指定課題、創作課題等の総合点を重視する。								
授業計画（全体）								
サロンワーク（美容師）として必要な基礎技術をベースとして専門的な上級技術を習得する。また、【フォト】8月にフォトコンテストエントリーを目標にテーマに沿った作品作りからフォトテクニックを習得し、指定フォトコンテストに1回以上エントリー必須とする。（全国理容師美容師学生技術大会）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
	ヘアデザインⅡ					養成施設日誌		
1,2	ロングウルフカット			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
3～6	パーマ、ブリーチ、カラー			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
7～10	トライアングルテクニック（ドライカット）			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
11～15	部分カラー、ブリーチ、仕上げ			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
16,17	個人発表			創作観点をまとめる		養成施設日誌		
18,19	ボブスタイルにフォワードグラデーション			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
20,21	カット、ブロー仕上げ、ドライカット			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
22,23	ショートカット			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
24,25	カット、ブロー仕上げ、ドライカット			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
26,27	ウェーブスタイル（モード系・キュート系）			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
28,29	カット、ブロー・アイロン仕上げ			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
30,31	ショートウェーブ			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
32,33	カット、仕上げ、ドライカット			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
34,35	刈り上げ、ボックスボブ、ショート刈り上げスタイル			スタイル確認・予習		養成施設日誌		
36,37	ウィッグを使用した自主制作、発表			作品のテーマ、発表の流れを事前確認		養成施設日誌		
	ヘアアレンジⅡ							
38～41	アップスタイルⅡ基礎技術			基礎の手順復習		養成施設日誌		
42～53	アップスタイルⅡ応用スタイル①					養成施設日誌		
54～69	アップスタイルⅡ応用スタイル②			演習・チェック・改善		養成施設日誌		
70～79	課題作成、総評、まとめ			総評、評価の改善点を確認		養成施設日誌		
	フォト技術							
80	写真とは……			入賞作品の傾向、対策、好み等情報確認する。		養成施設日誌		
81～85	撮影・写真加工デモンストレーション			演習の予習、復習		養成施設日誌		
86～89	撮影の実際Ⅰ			事前準備と心構え、復習		養成施設日誌		
90～93	撮影の実際Ⅱ、まとめ			事前準備と心構え、復習		養成施設日誌		
94～98	撮影の実際Ⅱ、まとめ			事前準備と心構え、復習、改善策		養成施設日誌		
99～111	撮影の実際Ⅱ、まとめ			事前準備と心構え、復習改善策		養成施設日誌		
102～108	作品制作・エントリー			作品エントリーに関する総チェック・改善		養成施設日誌		
	ヘアカラーⅡ							
109～111	ホイルワークⅠ			ホイルワークテクニック予習		養成施設日誌		
112～114	カラーチェンジ応用			カラーチェンジの基礎復習		養成施設日誌		
115～117	トーンダウン、トーンアップ応用			予習・復習		養成施設日誌		
118～121	ウィッグ応用テスト・総論			テスト準備、練習、復習		養成施設日誌		
122～124	人頭モデル染毛技術総テスト・まとめ			モデルの毛質、素質の確認、練習		養成施設日誌		
1 【ヘアデザインⅡ】評価100%の内、指定作品評価70％、授業態度は積極的に取り組む姿勢、熱意を30％評価								
2 【フォト技術】テーマに沿ったフォト作品を1点をフォトコンテストにエントリーを最低点（60点）～講師が評価を行い、終了認定とする。								
3 【ヘッドスパ】実技試験（指定課題）の点数70％と態度点30％の総合評価とする。								
4 【ヘアカラー】規定時間内に、ウィービング、カラーチェンジ等、直前課題完成点数（70％）授業態度点30％を総合的に評価する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価無し	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度							評価無し	可（1）：60点以上
発表・作品		◎		◎	◎		100%	不可（0）：59点未満未修得
演習							評価なし	
出席						出席率80%以上		（ ）内はGP点数
担当教員	山村（一）・本多・山本・平野・徳原・矢野・非常勤講師			実務経験紹介	○ 実務経験者のみ			

科目名	選択必修課目（トータルビューティ演習）		単位数	4単位	科目コード	BM
授業形態	講義 演習 学外実習		対象学生	1年・2年1B演習	開設期	1年後期・2年全期
受講条件	選択課目		開設時期		教員実務経験対象	○
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	メイク検定2級取得、ヘアアレンジ上級技術取得、ブライダルコーディネイト技術習得、アイラッシュ技術習得、エステティック技術（ボディ）を目的とし、トータルビューティサロンの就職視野にいたれた総合基礎技術を習得すること。					
授業の一般目標	トータルビューティの主軸である、「まつ毛エクステンション」、「ヘアメイク」、「ブライダルコーディネイト」、「エステ」の高度な技術と理論を習得し、メイクは2級検定取得を目標とする。					
受講条件	トータルビューティ演習を許可されたもの					
事前学習について（テキスト・参考書等）	専用テキスト、プリント、各種専用教材					
授業の到達目標						
☒ 知識・理解の観点 専門性の高い高度な知識、技術の習得できる。						
☒ 思考・判断の観点 基礎から応用活用するため、選択肢の中から最適な方法などを見出す						
☐ 関心・意欲の観点						
☒ 態度の観点 積極的、能動的に取り組む姿勢を評価する。						
☒ 技能・表現の観点 指定課題、創作課題等の総合点を重視する。						
授業計画（全体）						
「トータルビューティ」として必要な基礎技術をベースとして専門的な上級技術を習得する。また、【メイク2級】9月にJMAメイク検定3級取得する。【まつ毛エクステ】まつ毛エクステの基礎技術、理論を学んだ上で、講師に実際に営業に携わる「現場の実際に」ふれること。それに伴い、必要な応用力を身に着けるため、総戦力となりうる力を身に着ける。【エステティック】ボディと基礎手技の復習を総合的な技術を評価する。また、器具、用具の取り扱いと衛生面を考慮した授業態度を評価する。（実技70％、授業態度30％）【ブライダルコーディネイト】婚礼（洋装）のウエディングドレスをモデルに合わせ選び、テーマに沿った総合評価（メイク、ネイル、ヘアアレンジ等）を行う。						
授業計画（授業単位）						
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録	
	エステⅡ					
1	エステティック技術 概論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
2	フェイシャルケア基礎		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
3	フェイシャルケア基礎		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
4	フェイシャルケア応用		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
5	フェイシャルケア応用		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
6	フェイシャルケア確認試験・総括		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
7	フェイシャルケアまとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
8	ボディケア技術 概論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
9	ボディケア技術 基礎理論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
10	ボディケア技術 基礎技術		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
11	ボディケア技術 応用		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
12	ボディケア技術 応用		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
13	ボディケア技術 まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
14	ボディケア技術 確認試験・総括		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
15	エステティック技術 展開		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
16	エステティック技術 展開		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
17	エステティック技術 展開		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
18	エステティック技術 展開		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
19	エステティック技術 展開		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
20	エステティック最終確認		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
21	テスト・まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	アイラッシュ					
22	アイラッシュ用具、道具の確認と使用知識		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
23	アイラッシュ用具、道具の確認と使用知識		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
24	アイラッシュ概要Ⅰ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
25	アイラッシュ概要Ⅱ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
26	アイラッシュ 実習（基礎）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
27	アイラッシュ 実習（基礎）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
28	アイラッシュ 実習（基礎）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
29	課題Ⅰ解説		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
30	課題Ⅰ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
31	課題Ⅰ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
32	課題Ⅰ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
33	課題Ⅰ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
34	課題Ⅰ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
35	課題Ⅰ まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
36	課題Ⅱ解説		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
37	課題Ⅱ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
38	課題Ⅱ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
39	課題Ⅱ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
40	課題Ⅱ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
41	まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
42	課題Ⅲ 解説		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
43	課題Ⅲ 実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
44	課題Ⅲ 実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
45	課題Ⅲ 実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
46	課題 試験		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
47	課題 試験		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
48	総論・まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアアレンジⅡ					
49	基礎課題 確認・チェック		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
50	ブライダルヘアアレンジ 課題Ⅰ展示		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
51～54	課題Ⅰ 実習 ・まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
55～58	応用技術・シーンアレンジ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
59～61	応用技術・ブライダルアレンジ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
62～65	サロンスタイル 上級		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
66～67	テスト課題・講評・まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ブライダルコーディネイト					
68,69	ブライダル・コーディネイト 基礎理論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
70～73	課題（ドレスフィッティング。メイク、ヘア、アクセサリーチョイス）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
74	まとめ・課題Ⅱ事前説明		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
75～80	課題Ⅱ 創作練習・実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
81	総評、課題克服・最終課題発表		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
82	最終課題 事前説明・課題模範展示		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
83～87	最終課題 制作実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
88	採点・講評・総論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	

	メイク2級		
89, 90	メイク3級 説明・概論・用具使用方法確認・検定用要綱	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
91～94	・ベースメイク	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
95～97	・ポイントメイク2	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
98～101	・印象別メイクソフトな印象	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
102～105	・印象別メイクシャープな印象	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
106～109	・印象別メイク 1	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
110～112	・印象別メイク 2	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
113～115	・モデルにあった印象メイク 1	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
116～118	・モデルにあった印象メイク 2	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
117～119	・2級対策模擬 1	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
120～124	・2級対策模擬 2	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
成績評価方法			
1【エステ】実習、演習の規定時間内、手技の精度、全体の流れを創業評価とする。（70％）また授業態度は積極性、出席率を総合的に評価する（30％）			
2【メイク2級】検定合格基準を100％とし、随時水準に達しない学生は課題を課す。（随時）検定課題70％、実技に対する授業態度として、積極性を重視し、30％を課す。			
3【マツ毛エクステンション】正しい用具の扱い、手順、消毒等、安全性、正確性に対し、実技で70％、授業態度で積極的に行動しているところなど総合評価とする（30％）			
4【ブライダルコーディネイト】ブライダルに関する課題ドレスに対し、フィッティング、ヘアメイク、その他アレンジでテーマに沿っているかを評価する（70％）授業評価は積極的な演習参加、創作意欲を重視する（30％）			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲
定期試験			
小テスト			
宿題授業外レポート			
授業態度			
発表・作品	◎	◎	◎
演習			
出席			
担当教員	川元・山村（京）・楠・竹内・伊藤・金次・非常勤講師	実務経験紹介	○実務教員のみ

科目名	総合基礎	単位数	5単位	科目コード	BM
授業形態	講義 演習 実習	対象学生	1年	開設期	1年全期
受講条件	共通課目	開設時期	4月	教員実務経験対象	○
授 業 概 要 （目的、目標とする資格・検定等）	【メイク】メイクの基礎技術を学び、JMAメイク検定3級取得を目指す。 【ヘアアレンジ】基礎アップスタイル3～5種を補助無しでできるようになる。また、アレンジの編み込み、ダウンスタイル、パーティースタイルのアレンジ力を養う。【ヘアカラー基礎】1年後期、ヘアカラー基礎理論、色彩学を習得、最新のカラー剤概要を理解し、実際の基礎技術を習得する。 【カット基礎（ヘアデザイン）】ルーローカットを用いて、ベーシックカット（ワンレングス、グラデーション、レイヤー）でシザーワーク等基本的なカットスタイルを習得する。 【ネイル】ネイルの基礎技術、理論を学び、JNECネイル検定3級取得を目指す。 まつエク：まつ毛エクステンションの装着基礎のテーピング、ツイザーの持ち方等基礎的な装着方法を学ぶ。				
授業の一般目標	メイク検定3級取得。ネイル検定3級取得。ヘアアレンジ・カット・カラーは規定時間内に指定スタイルができるようになる。まつエクは指定時間内に装着出来るようになる。				
受講条件	2026（R8）年度美容学科昼間課程1年				
事前学習について（テキスト・参考書等）	プリント、「JMAメイク検定3級テキスト」JMA発行、まつエク・ヘアアレンジ「日本理容美容教育センター」発行、美容実習1・2 「JNAテクニカルベーシック」NPO法人日本ネイリスト協会発刊、各課題に必要な用具類一式 ヘアカラー、カット基礎「日本理容美容教育センター」発行、美容実習1・2				
授業の到達目標					
☒ 知識・理解の観点 基礎技術の知識、技術を理解し、習得する。（基礎技術80%以上理解、習得）					
☒ 思考・判断の観点 基礎技術を使って様々な条件のスタイルをイメージできる。					
☐ 関心・意欲の観点					
☒ 態度の観点 メモをとる、理解不足、質問、再現等積極的行動を重視する。					
☒ 技能・表現の観点 規定時間内で60～80%の仕上がりを重視する。					
授業計画（全体）					
【ヘアアレンジ】アレンジ基礎のアップスタイルベーシック、ダウンスタイルベーシック、基礎課題を補助なしでできるまでになる。 【メイク】メイク検定取得目標とし、メイクの基礎全般の知識、技術を習得する。 【まつ毛エクステンション】まつ毛エクステンションの装着の基礎を習得する。 【ネイル】ネイル検定3級取得目標とし、ネイルの基礎知識、基礎技術を習得する 【カット基礎（ヘアデザイン）】基礎カットの3課題を80%（時間、仕上がり度合い）のレベルに到達する。 【ヘアカラー基礎】ヘアカラーの基礎理論、基礎技術を習得し、グレイカラー、ファッションカラーの各カラー剤選択から塗布技術、その他、カラーシャンプー技術など、基礎技能を習得する。					
授業計画（授業単位）					
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録	
1～30	メイクアップ概論・メイクアップ用具の基礎知識と使用方法Ⅰ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	メイクアップ用具の基礎知識と使用方法Ⅱ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	スキンケアⅠ 手指消毒～クレンジングまで	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	スキンケアⅡ クレンジング～ベースメイクアップまで	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	スキンケアⅢ ベースメイクアップ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	スキンケアⅣ ローライト、ハイライト、チークまで	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	メイク検定3級 検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	メイク検定3級 検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	メイク検定3級 検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	模擬試験	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	模擬試験	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	実技試験・総評	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
31～45	ヘアアレンジ基礎（まとめる・編み込む・ヘアアイロン技術）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアアレンジ基礎（まとめる・編み込む・ヘアアイロン技術）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアアレンジ基礎（アップスタイル）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアアレンジ基礎（アップスタイル）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	創作アレンジⅠ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	創作アレンジⅡ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	実技試験・総評	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
46～60	まつ毛エクステンション（基礎）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	まつ毛エクステンション（基礎）・テスト・評価	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
61～90	ベーシックカット概論 シザーワーク、ワンレングス	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ワンレングスカットⅠ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ワンレングスカットⅡ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ワンレングスカットⅢ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	グラデーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
91～120	レイヤーⅠ・Ⅱ・Ⅲ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー基礎Ⅰ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー基礎Ⅱ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー概論、色彩学	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー剤の基礎知識と薬剤の作り方	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	カラーチャート作成	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ブリーチ実習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー塗布技術 リタッチ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラー塗布技術 ワンタッチ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	カラーチェンジ方法	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	総合演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ヘアカラーまとめ・総評	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
121～150	ネイル概論	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ネイル用具と使用方法Ⅰ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ネイル用具と使用方法Ⅱ	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ネイルの歴史	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	爪の構造と働き	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	ネイルのための皮膚科学	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	爪の病気とトラブル	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	消毒法	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	
	香粧品学	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌	

	3級検定対策Ⅰ（プレマニキュア）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	3級検定対策Ⅱ（プレマニキュア）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	ネイルケア（手指消毒、ポリッシュオフ、ファイリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	ネイルケア（キューティクルクリーン、カラーリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	ネイルケア（キューティクルクリーン、カラーリング）	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	筆記試験演習、実技演習	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
	検定対策	実技復習等、時間外（放課後対応）練習等	養成施設日誌
成績評価方法			
1 試験は、検定取得レベル、または課題達成レベルの基準に対し、基礎知識と基礎技術習得度を評価する。			
2 授業態度として、検定取得レベル、または課題仕上げレベルに対し、取り組む姿勢、意欲、思考を評価対象とする。			
3 3課程それぞれ、80％以上出席とする。			
4			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲
	態度	技能・表現	その他
	評価割合	成績評価基準	
定期試験	◎	◎	◎
小テスト			
宿題授業外レポート			
授業態度			
発表・作品			
演習			
出席			
		80％以上出席	
担当教員	川元・楠・本多・金次・ 糸賀・郡司・伊藤	実務経験紹介	サロン勤務経験者・まつ毛エクステンション検定委員・メイクアップ検定委員・ネイルリスト検定委員

科目名	進級制作	単位数	1 単位	科目コード	BM			
授業形態	講義 演習 実習	対象学生	1 年生	開設期	1年後期			
受講条件	共通課目	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要的、目標とする資格・検定等	【修了制作】ヘアカラー基礎と総合基礎、美容実習、理論を含め習得した技術、知識を活用し、指定ウィッグを使用して「ヘアデザイン」「メイク」「ヘアカラー」「アレンジ」等駆使し、テーマに沿った作品を一人1点仕上げる。							
授業の一般目標	1 年生習得技術、知識の集大成となり、進級判定必須課題となる。							
受講条件	2026年度美容学科昼間課程 1 年在籍であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	ウィッグデザインのフォト等 各自のコレクションブック、ヘアカラー基礎知識のプリント、美容技術理論（日本理容美容教育センター発刊）参照とする。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 ヘアカラー基礎に重点を置き、正しい知識、正確な技術習得度を80%基準（カラー選択、時間）で評価する。								
☒ 思考・判断の観点 ヘアカラーの色選定と発色の基礎知識を活用し、正しく表現することを評価する。								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 課題のテーマ、規定を順守し、仕上がった作品に投票制（在校生、保護者、関係者）を設け、評価対象に加える。								
授業計画（全体）								
【修了制作】指定ウィッグをテーマに沿った作品を制作するにあたり、デッサン、ヘアカラー、カット、ヘアアレンジ、メイク等用いて30時間で1作品を仕上げる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	ヘアカラー基礎		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
3～10	ヘアカラー概論、色彩学		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ヘアカラー剤の基礎知識と薬剤の作り方		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	カラーチャート作成		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ブリーチ実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ヘアカラー塗布技術 リタッチ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ヘアカラー塗布技術 ワンタッチ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	カラーチェンジ方法		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
11～15	総合演習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	ヘアカラーまとめ・総評		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	修了制作		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	デザイン、デッサン、制作計画、薬剤選定		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
16～30	制作実習		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	制作、展示、まとめ		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
			実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
成績評価方法								
1 テーマに沿った課題に対し、習得した知識、技術と自由な思考で課題を制作する。採点は投票制を参考とする。								
2 デッサン、ヘアカラー、カット、ヘアアレンジ、メイク、技術の5つの観点をもとに教員が採点する。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀（4）：90点以上
小テスト								優（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良（2）：70点以上
授業態度								可（1）：60点以上
発表・作品	◎	◎			◎		100%	不可（0）：59点未満 未修得
演習								
出席				80%以上出席率		未完成単位不可		（ ）内はGP点数
担当教員	非常勤講師・美容学科資格取得者教員			実務経験紹介	サロン勤務経験者・美容師養成施設指導資格者			

科目名	卒業制作	単位数	1 単位	科目コード	BM			
授業形態	講義 演習	対象学生	2年	開設期	2年全期			
受講条件	共通課目	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	【卒業制作】30時間のうち、人体（モデル）を使用し、2年間で習得した技術、知識を応用し、トータル面で仕上げ、発表する。【国家試験対策】国家試験実技課題、国家試験筆記試験7科目、衛生管理取り扱い、それぞれに対し、国家試験合格レベルまで総合的に引き上げる。（実技、筆記ともに合格基準80%以上～100%）							
授業の一般目標	2年間の習得技術、知識の集大成となり、卒業判定必須課題となる。							
受講条件	2026年度美容学科昼間課程2年生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	【卒業制作】スタイルブック、動画等参考資料とヘアメイク＆ファッション用具。【国家試験対策】実技課題用具一式、衛生管理技術用具一式、筆記試験全課目のテキスト、ワークブック、（日本理容美容教育センター発行）過去問題プリント等							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 全てにおいて2年間で学んだ基礎～応用の知識、技術を応用し、100%活用し、規定遵守すること、応用することを評価とする。また、筆記、理論等は、国家試験合格100%を目指すレベルに到達できる。								
☒ 思考・判断の観点 基礎～応用を活用し、最善の方法、思考力、判断力を養い、総合的に高レベルで最適な方法を選択できるレベルに達する。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 能動的に取り組む姿勢や、チームワークの協調性、課題達成に向けた総合的な姿勢を評価する。								
☒ 技能・表現の観点 【卒業制作】ヘアメイクライブのモデル表現。								
授業計画（全体）								
【卒業制作】モデル選出からヘアメイクライブ前日までヘア、メイク、ファッション等、2年間で習得した技能をモデルを通し総合演出、発表まで全て総合評価とする。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～30	卒業制作							
	計画（モデル選出・デザイン起こし・役割分担）		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	シミュレーション（ウィッグまたは代理モデルを使用）		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	創作活動・調整Ⅰ		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	創作活動・調整Ⅱ		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	創作活動・調整Ⅲ		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	創作活動・調整Ⅳ		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	最終調整・役割分担・演出練習・リハーサル		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
	最終リハーサル、発表		モデル等、備品等確認、時間外（放課後対応）		養成施設日誌			
成績評価方法								
1 【卒業制作】モデルによるトータルビューティの表現力とヘアメイクライブ発表時の態度、表現力（施術者、モデル）を評価する。								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀（4）：90点以上 優（3）：80点以上 良（2）：70点以上 可（1）：60点以上 不可（0）：59点未満 未修得
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品		◎	◎	卒業制作のみ	HML欠席不可		100%	
演習								（ ）内はGP点数
出席						出席率80%以上		
担当教員		美容学科資格取得者教員		実務経験紹介	サロン勤務経験者・美容師養成施設指導資格者			

科目名	国試対策	単位数	3単位	科目コード	BM			
授業形態	講義 演習	対象学生	2年	開設期	2年後期			
受講条件	共通課目	開設時期		教員実務経験対象	※一部あり			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	【国家試験対策】国家試験実技課題、国家試験筆記試験7科目、衛生管理取り扱い、それぞれに対し、国家試験合格レベルまで総合的に引き上げる。（実技、筆記ともに合格基準80%以上～100%）							
授業の一般目標	2年間の習得技術、知識の集大成となり、卒業判定必須課題となる。							
受講条件	2026（R08）年度美容学科昼間課程							
事前学習について（テキスト・参考書等）	【国家試験対策】実技課題用具一式、衛生管理技術用具一式、筆記試験全課目のテキスト、ワークブック、（日本理容美容教育センター発刊）過去問題プリント等							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 全てにおいて2年間で学んだ基礎～応用の知識、技術を応用し、100%活用し、規定遵守すること、応用することを評価とする。また、筆記、理論等は、国家試験合格100%を目指せるレベルに到達できる。								
☒ 思考・判断の観点 基礎～応用を活用し、最善の方法、思考力、判断力を養い、総合的に高レベルで最適な方法を選択できるレベルに達する。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 能動的に取り組む姿勢や、チームワークの協調性、課題達成に向けた総合的な姿勢を評価する。								
☒ 技能・表現の観点 国家試験課題に対し正確な作品ができていること。								
授業計画（全体）								
【国試対策】国家試験実技、筆記試験に合格するレベルまで4段階で評価する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～60	国試対策							
	実技課題総合概論		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	実技演習（国家試験実技課題）・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
	習熟度確認・模擬テスト		実技復習等、時間外（放課後対応）練習等		養成施設日誌			
61～90	筆記委対策		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	筆記対策（過去問解答解説）・模擬テスト		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	筆記対策（過去問解答解説）・模擬テスト		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	筆記対策（過去問解答解説）・模擬テスト		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	筆記対策（過去問解答解説）・模擬テスト		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	過去問演習・解答解説・模擬試験		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
成績評価方法								
1 【国試対策】国家試験課題に対し、実技では、国家試験レベル到達100%に向け、規定理解100%、実技では80～100%習得を基準とする。								
2								
3								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀（4）：90点以上
小テスト	◎	◎			◎		70%	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート				◎			30%	良（2）：70点以上
授業態度								可（1）：60点以上
発表・作品								不可（0）：59点未満 未修得
演習								
出席						出席率80%以上		（ ）内はG P点数
担当教員	美容学科資格取得者教員			実務経験紹介	サロン勤務経験者・美容師養成施設指導資格者			

科目名	インターンシップ	単位数	2単位	科目コード	BM			
授業形態	学外実習	対象学生	1年生	開設期	2027年2月中旬～2027年3月上旬			
受講条件	共通課目	開設時期	2月	教員実務経験対象	※一部あり			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	各サロン内で60時間出100%出席とする。スタッフ一員として自覚をもち、気配り、目配り、心配りを常に意識する。就職を意識して、サロン内の業務や考え方など、経験することにより、就職意識を高める。							
授業の一般目標								
受講条件	2026(R8)年度 美容学科昼間課程1年在籍							
事前学習について (テキスト・参考書等)	敬語の正しい使い方、挨拶、報連相、実習記録、実習日誌等、記録やメモの取り方、事前準備、清掃方法など確認しておく。							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☒ 思考・判断の観点 サロン従業者として実際にサロンワークを通してスタッフ一員とし、考え行動することで就職時のイメージを明確にする。								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 スタッフの一員として目配り、気配り、心配りに注力し、他のスタッフやお客様に対し積極的な接客態度を実践する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
事前指導はアシスタント業務、清掃、整理整頓、ヘルプなど模擬サロンとして実習応用として行う。受け入れサロン事前打ち合わせを行い、サロン従事者として週6時間の実習を8日間(60時間)を履修する。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	挨拶、自己紹介、サロンスタッフとしての業務指導		事前打ち合わせ・日程予約・打ち合わせ		実習準備記録			
7～13	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
14～20	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
21～27	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
28～34	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
35～41	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
42～48	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
49～54	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
55～61	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
62～66	サロンワーク補助・室内清掃・接客等実務実習		実習記録・日誌記入・事前準備等		実習日誌・評価表・出勤簿			
成績評価方法								
1 出席率100%で評価60%とする。 2 態度 各サロン評価表A`C評価に対し、20%、10%、0% 3 実習日誌、アンケート等、提出物をA`Cとし、20%、10%とし、未提出の場合、単位認定不可とする。 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価無し	秀 (4):90点以上
小テスト							評価無し	優 (3):80点以上
宿題授業外レポート				○		未提出:不可	10%	良 (2):70点以上
授業態度		○	◎				10%	可 (1):60点以上
発表・作品							評価無し	不可(0):59点未満未修得
演習							評価無し	
出席				◎			80%	()内はGP点数
担当	各美容所指定サロン		実務経験紹介					

科目名	一般教養Ⅰ	単位数	2単位	科目コード	BM			
授業形態	講義	対象学生	全学年	開設期	全期			
受講条件	一般教養科目	開設時期	4月	教員実務経験対象				
授業概要 （目的・目標とする資格・検定等）	色彩理論、文化、ファッション、パーソナルカラー概要を学び、基礎知識を習得する。最終目標として、「パーソナルカラリスト検定3級」を1年次に全員受験し、全体の合格률을 80%以上を目標とする。色彩に関する基礎知識とC U S配色調和への理解が得られる。パーソナルカラーに対する人と色の特徴を理解できるようになる。美容師として必要な「3つの説明責任」として、重要視する「現状説明」、「技術説明」、「お手入れ説明」を的確に行うため、プロが学ぶ基礎理論や専門知識を理解し、「ヘアケアマイスター・プライマリー検定取得」を目標とする。（検定取得率目標全国平均以上）							
授業の一般目標	パーソナルカラリスト検定資格取得、ヘアケアマイスタープライマリ検定資格取得を目指す。							
受講条件	2025(R07)年度美容学科在籍学生（ヘアケアマイスター・プライマリー検定）2026(R08)年度美容学科在籍学生（パーソナルカラリスト検定3級）							
事前学習について （テキスト・参考書等）	「パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト」（一般）日本カラリスト協会発行 過去問題プリント ヘアケアマイスターブック（2019, 2月1日発行） 補足資料プリント、過去問題集抜粋プリント							
授業の到達目標【JAPCA】パーソナルカラリスト検定取得（目標80%以上合格） 毛髪科学、毛髪カウンセリング、ヘアケア剤の知識を習得し、ヘアケアマイスター検定の取得する。								
☒ 知識・理解の観点 第1章～第4章の概要、特に基礎理論として「色の仕組み」「C U S表色系・配色効果」「色の三属性と対比現象」「色の感情効果」を80%理解することができる。また、検定に向け過去問題を中心に8割以上の正解を目標とする。知識・理解の観点 毛髪科学、カウンセリング、ヘアケア剤の知識について概要理解度と要点の理解の2点を観点とする。								
☐ 思考・判断の観点 思考・判断の観点 演習問題を通し、実際にグループワークでモデルとなる学生を使い、学んだ知識を組み合わせることで、判断力を養う。								
☐ 関心・意欲の観点 関心・意欲の観点 質問の質や数を中心に関心の深さを測る。								
☒ 態度の観点 グループワークの参加意欲、作業の積極性を重視する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキスト説明に伴い、名称と専門用語の基礎理解を均一化する。授業終了後「確認テスト」を行い、理解不足の場合、プリント課題を提出後再度確認テストを行う。1章、2章、3章に限定し、図解説明、実験を加え、イメージ力を高める。最終授業後模擬テストを行い、解答解説を行い、検定に挑む。（模擬テスト80点以上目標） 単元終了後、小テストを行う（4回）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～30	基礎理論（パーソナルカラー）							
	四季と自然を表す色、日本の歴史の色		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	色と生活、色の種類		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	色の仕組み（物体色と光源色～目の構造とはたらき）		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	色の三属性、C U S表色系		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	C U S色相配色・演習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	C U S色調配色・演習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	対比現象・同化現象・色の感情効果		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	C U Sアンダートーン配色、演習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	C U Sアンダートーン配色、演習		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	C U S配色のまとめ、演習（色相配色、色調配色、アンダートーン）		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	ファッション概論				養成施設日誌			
	ファッション概論		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	配色テクニック、イメージ用語		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
31～42	まとめ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	パーソナルカラー概論（肌、皮膚、髪）		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	パーソナルカラー概論（4シーズンの人の特徴）		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	パーソナルカラー概論（4シーズンのコーディネイトの特徴）		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	パーソナルカラーまとめ		テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌			
	3級検定対策		過去問題・演習問題・要点まとめ		養成施設日誌			
	3級検定対策		過去問題・演習問題・要点まとめ		養成施設日誌			
	3級検定対策 まとめ		過去問題・演習問題・要点まとめ		養成施設日誌			
43～62	ヘアケアマイスター・プライマリー検定対策							
	第1章 毛髪科学		1章 予習（テキスト熟読）		養成施設日誌			
	グループワーク・まとめ・確認テスト		1章 復習（テスト解答訂正）		養成施設日誌			
	第2章 毛髪カウンセリング		2章 予習（テキスト熟読）		養成施設日誌			
	グループワーク・まとめ・確認テスト		2章 復習（テスト解答訂正）		養成施設日誌			
	第3章 ヘアケア剤		3章 予習（テキスト熟読）		養成施設日誌			
	グループワーク・まとめ・確認テスト		3章 復習（テスト解答訂正）テスト学習		養成施設日誌			
	1～3章 まとめ・期末テスト		1, 2, 3章 誤りを訂正し、ページを記入する		養成施設日誌			
	受験対策・過去問解答解説		1, 2, 3章 まとめ・過去問演習		養成施設日誌			
	受験対策・過去問解答解説		1, 2, 3章 まとめ・過去問演習		養成施設日誌			
	検定試験最終模擬		模擬試験・解答解説・重点内容共通理解		養成施設日誌			
1【期末試験】 期末試験を1回 2【宿題授業外レポート】 宿題、提出物期限内に出す。 3【発表・作品】 グループ発表1回行う。 4【小テスト】 各単元後確認テストを行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					80%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度			○				20%	可（1）：60点以上
発表・作品							評価無し	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席							評価なし	
担当教員		松本恵 ・ 千村 希人		実務経験紹介		（ ）内はG P点数		

科目名	一般教養Ⅱ（就職実務、接遇、JBCA）		単位数	2	科目コード	BM		
授業形態	講義 演習 実習		対象学生	1年	開設期	1年後期・2年全期		
受講条件	一般教養課目		開設時期	4月	教員実務経験対象			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	【接遇】挨拶、ビジネスマナーなどを含めた社会人基礎力を学び、日常から習慣づけることができる。 【JBCA】ビューティビジネス実務検定を学ぶことで、一般常識～美容業界の所作、接客、販売、施術等、ロールプレイングを行うことで身につけることができる。敬語の使い方、電話応対の基礎対応力を身に付けることができ、最終的にビューティビジネス検定（旧JBCA3級）を1年生全員受験、100%以上合格率を狙う。※2年次、3級合格者は2級自主受験も可能。1年次3級不取得の者は2年次に3級受験を行う。							
授業の一般目標	①社会人、美容業の一般常識を理解する。②ビューティ・ビジネス実務検定資格取得を目指す。							
受講条件	2025(R7)年度美容学科昼間課程在籍(就職実務) 2026(R8)年度美容学科昼間課程在籍							
事前学習について（テキスト・参考書等）	ビューティビジネス実務検定公式テキスト（NP0法人日本ビューティ・コーディネーター協会発行）・過去問題集（NP0法人日本ビューティ・コーディネーター協会発行） ワークブック							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 期末試験70点以上（平均レベル）獲得できるようになる。								
☒ 思考・判断の観点 ロールプレイング：敬語表現と正しい言葉遣い、名刺交換、電話応対基礎等自己判断で社会人新人レベルまで対応できる力を身に着ける。（基礎理解70%）								
☐ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 積極的にロールプレイングに参加する気持ちを重視する。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキスト説明に伴い、名称と専門用語の基礎理解を均一化する。授業終了後「確認テスト」を行い、理解不足の場合、プリント課題を提出後再度確認テストを行う。1章、2章、3章に限定し、図解説明、実験を加え、イメージ力を高める。最終授業後模擬テストを行い、解答解説を行い、検定に挑む。（模擬テスト80点以上目標）単元終了後、小テストを行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	ビューティ・ビジネス実務検定を通じて学が意義1			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
2	ビューティ・ビジネス実務検定を通じて学が意義2			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
3	ビューティ・ビジネス実務検定を通じて学が意義3			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
4	良いBCはビジネスマナーが身についている1			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
5	接客業とBC			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
6	身だしなみ概論と身だしなみチェック			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
7	好感のもてる話し方、聴き方、お辞儀の仕方（所作）			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
8	良いBCはビジネスマナーが身についている2			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
9	名刺交換、電話応答			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
10	ロールプレイング			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
11	サロン模擬体験（イメージ力、臨場感）			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
12	グループワーク			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
13	カウンセリング、販促品セールス			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
14	ファースト、ミドル、アフターカウンセリング			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
15	商品知識、セールス演習			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
16	BCに求められるコーディネート力とは。			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
17	世代のファッション、歴史の知識			テキスト熟読・予習、復習		養成施設日誌		
18	総論、まとめ、検定対策			検定試験対策過去問題・模擬試験対策問題		養成施設日誌		
39	BB検定対策、過去問演習問題			検定試験対策過去問題・模擬試験対策問題		養成施設日誌		
40	BB検定対策、過去問演習問題 検定試験			検定試験対策過去問題・模擬試験対策問題		養成施設日誌		
41～60	就職実務 サービス接遇					養成施設日誌		
	就職に至る基礎知識・心構え					養成施設日誌		
	履歴書・エントリーシート記入方法					養成施設日誌		
	求人票による企業分析・マッチング					養成施設日誌		
	自己理解					養成施設日誌		
成績評価方法								
1 定期試験（基礎問題）と検定対策過去問題80%以上の点数獲得。 2 積極性、主体性を重視する 3 ロールプレイング、グループワークで一般的な行動、言動（7割） 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀（4）：90点以上
小テスト							評価無し	優（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価無し	良（2）：70点以上
授業態度			◎	◎			30%	可（1）：60点以上
発表・作品					○		10%	不可（0）：59点未満 未修得
演習							評価無し	
出席						80%以上	10%	（ ）内はGP点数
担当教員	JBCA認定教員・千村・中川			実務経験紹介				